

# TSUDOI (座談会)



昨年度までは「保護者のTSUDOI」として実施していましたが、名称を「TSUDOI」に変更し毎月1回程度で開催しています。様々な立場の方が参加しやすいようにしたことで、本人、兄弟、父母、祖父母、と様々な立場の方に参加していただくことができました。

発達障がいなどについて気になることがある方は、診断の有無に関わらず、どなたでもご参加ください。大したお構いはできませんが、お子さま連れでも大丈夫です。お待ちしております。



# 相談・居場所「あいのま」



「あいのま」とは、主要な部屋と部屋をつなぐ間の部屋のこと、「間の間」や「相の間」と表記します。アコモンでは、相談等の対応や学校がある平日の子どもと保護者の居場所として場を開放しています。



お家と医療機関・支援機関の間にある、アコモンの「あいのま」発達障がいの専門家ではありませんが、お母さんスタッフが同じような立場でお話をうかがい、情報を提供しています。



話すことは、もやもやとした気持ちや掴みにくい状況の整理になります。今、何ができるのかを一緒に考えていきましょう。

お家と学校や学びの場をつなぐ、アコモンの「あいのま」学校に行くことが辛くお家にいる子にとって、ひとつ飛びで学校や次の学びの場に気持ちを向けるのには、ものすごい量のパワーが必要です。そんな時にはスモールステップでチャレンジしたいもの。お家から「あいのま」、「あいのま」から学校や自分に合った学びの場へ。ご利用の際は、事前にご連絡ください。

## 子どもたちの作品



# ご報告

2018年3月に開催したワークショップとアンケートのご意見を反映した案を基に、岩手県・岩手県医師会にて「みんなの受診サポート手帳」を発行していただきました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございます。受診サポート手帳は、初めて受診する医療機関の度に説明やお願いをする手間を省き、できるだけスムーズに受診ができるようにするためのものです。どうぞ、ご活用ください！



岩手県のHP

# 2019年度

12月現在

# ご支援ありがとうございます！ (50音順、敬称略)

今年度は以下の皆さまのお力添えのもと、活動を継続しています。温かく見守っていただき本当にありがとうございます。アコモンの活動は、みなさまのご支援や、医師・心理士・学校の先生方などのご意見・ご協力をいただきながら、保護者が企画・運営しています。大人も子どもも保護者も共に成長して、社会の一員として歩んでいけるよう活動に励んでいます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 賛助会員のみなさま

阿部圭子(みすず広場)

いろはり@本宮

奥野雅子(岩手大学人文社会科学部)

株式会社ソールド

清田博美(一関修紅高等学校)

Gripキッズ盛岡本宮校

子ども支援センターAMBI教室

こどものデイサービスなないろ

社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院

就労支援センター ひゅーまにあ盛岡

スマイルメガネ研究所 盛岡MOSSビル店

スマイルメガネ研究所 矢中アルコ店

長南幸恵(岩手保健医療大学)

テルえもん

特定非営利活動法人盛岡YMCA

トライアングルカンパニー

トラベル・リンク株式会社

認定NPO法人いわて子育てネット

ひだまり薬局

美容室Bon Courage

放課後等デイサービス飛行船

八重樫美由紀

ゆう歯科医院

リベルタ美容室 ほか匿名8組

毎月11日

## 物資・会場のご支援

いわて県民情報交流センター(アイーナ)

乾燥フルーツComeCome おまもりんご

純情米いわて 銀河のしずく

## イオン黄色いレシートキャンペーン

黄色いレシートをアコモンに投函していただくことで、レシートの金額1%分をギフトカードで寄贈していただいています。学用品や文房具、ミシンなどを購入し、まなびのHIROBAで活用させていただいています。ご協力ありがとうございます。

## お問い合わせ・お申し込みは

<企画・発行> 認定特定非営利活動法人accommon(通称:アコモン)

〒020-0022 盛岡市大通三丁目7番21号-202

ホームページ: <https://accommon.jp>

メール: [info@accommon.jp](mailto:info@accommon.jp)

LINE公式: @accommon

電話番号: 019-656-7067

(イベントのない平日10~16時)



## アコモン×SDGs



アコモンは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

# Tayyori

アコモンの広報誌 ~たより~



アコモンは  
集団の中で困りを抱えている  
子どもたちも その親たちも  
共に成長していける  
「場所づくり」を目指しています

発行: 認定NPO法人accommon  
ホームページ: <https://accommon.jp/>  
お問い合わせ: [info@accommon.jp](mailto:info@accommon.jp)



寄付金や賛助会費をお支払いいただく、寄付金控除を受けられるようになります。

● ●  
個人が寄付をした場合 → 所得税と住民税の控除ができます  
寄付者が確定申告をすることによって、税金の還付を受けることができます。

税額控除方式	所得控除方式
$(\text{寄付金総額} - 2,000\text{円}) \times 40\%$ 年間の寄付金のうち、2,000円を超える額の40%が「所得税」から控除され、その金額の所得税が還付されます。 ※寄付金の額の合計額は総所得額の40%が限度、税額控除額は所得税額の25%が限度	$\text{OR}$ 年間の寄付金のうち、2,000円を超える額が「所得」から控除され、その金額の所得税が還付されます。 ※総所得額の40%が限度
所得税の計算式はどちらか有利な方をお選びいただけます。	

● ●  
個人住民税の計算式

$$(\text{寄付金総額} - 2,000\text{円}) \times \text{最大}10\%$$

年間の寄付金のうち、2,000円を超える額の最大10%(都道府県指定分4%+市区町村指定分6%=合計最大10%)が「個人住民税」から控除されます。

● ●  
法人が寄付をした場合 → 損金算入限度額の枠が拡大されます  
一般寄付金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます。

一般寄付金の損金算入限度額	特別損金算入限度額
$(\text{資本金等の額} \times 0.25\% + \text{所得金額} \times 2.5\%) \times 1/4$ 一般NPO法人への寄付はこちらだけ	$(\text{資本金等の額} \times 0.375\% + \text{所得金額} \times 6.25\%) \times 1/2$ 認定NPO法人への寄付はこちら+になります

# 祝 認定NPO法人になりました



発達障害の当事者やその保護者が活動する盛岡市のNPO法人accommon(アコモン)、成田礎野美理事長、正会員33家族)は認定NPO法人に認められ、27日に県庁で認定書交付式が行われた。法人への寄付者が税制上の優遇を受けられる。成田理事長ら3人が訪問し、県若者女性協働推進室の藤澤修室長から認定書を受け取った。認定は5日付で、県内の認定NPO法人は18団体になる。(右手日報記事より)

9月27日の交付式にはマスマディアの取材も入り、緊張した空気の中、アコモンスタッフ3名が認定書をいただいてまいりました。兼ねてより準備してまいりました申請が受理され、認定NPO法人となることができました。認定NPO法人とは、NPO法人の中でも、より客観的な基準に

おいて、高い公益性を持っている団体と与えられるものであり、社会的信頼も厚くなり、様々な連携を得やすくなります。認定NPO法人は全国のNPO法人の中でもわずか2%。アコモンも認定NPO法人として質の高い活動を目指し、邁進してまいります。

## 医院選びは... ミニコラム

11月30日発行の週刊ダイヤモンドの特集は歯医者に関するもので、「歯医者のホント」「後悔しない医院選び」「解明! 治療費のナゾ」と表紙のキャッチコピーにひかれて買った。後日、ホワイトニング(歯を白くする治療で保険外診療)を希望する旧知のAさんに、ホワイトニングの治療手順と費用を説明し終えると、Aさん「医院によって治療費が全然ちがいますよね」と。治療費といえば週刊ダイヤモンドの特集にホワイトニングのこともあったと思い、Aさんと一緒に記事を読んだ。記事はホワイトニング費用3万円で医院の利益がその9割程度で高利益とある。この記事が事実としたら、9割も利益がでるような価格設定する歯医者の人となりってどうなのよ?と、二人で話が盛り上がった。「医院選びって、結局そこですよね」とAさん。大事なことはいつも患者さんが教えてくれると痛感する私。

ゆう歯科医院 佐藤 裕先生

### 勉強会・ワークショップ

助成期間を終了し、今年度からは自主事業としてリスタート。保護者の皆さんの要望を取り入れつつ、講義、座談会、ワークショップ形式と趣向を凝らして開催しています。



4/16	ワークショップ「サポートブックを作ろう」
5/15	ワークショップ「学校との連携を考える」 アドバイザー岩手県教育委員会 五安城正敏先生
6/7	ワークショップ「子どもの見方を変えてみよう」
7/10	テーマ座談会「夏休みの宿題対策」
8/28	勉強会「SST講座～適応思考を身につけて心に余裕を～」 岩手県立大学看護学部講師、SST普及協会認定講師 佐藤史教先生
9/13	勉強会「震災の時に大変だったこと、今から備えられること」 宮古圏域障がい者福祉推進ネット 相談支援専門員 高屋敷大介さん 盛岡市社会福祉協議会地域づくり推進員 澤崎かおるさん
11/7	ワークショップ「ネットリテラシーを正しく伝えよう」 岩手県立大学看護学部講師、SST普及協会認定講師 佐藤史教先生

### まなびのHIROBA

落ち着いて学びに取り組みよう、顔の分かる少人数で活動する会員家族向けの活動です。会員以外の体験も受け付けています。頑張りをポイントに換算する『チャレンジポイント』を導入し、チャレンジポイントは、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンの応援で用意した文具などのごほうびと交換できます。

4/20	通常まなびのHIROBA
6/8	復興バザー出店準備
6/15	復興バザー出店(アイーナ)
7/6	チャレンジキャンプと合同開催
8/17	通常まなびのHIROBA
9/7	復興バザー出店準備
10/14	復興バザー出店(アイーナ) 自分たちで作ったものを並べ、店番体験をしました。 お手伝いをした時間によってチャレンジポイントがもらえ、そのポイントでバザーの商品を購入する子もいました。 社会経験を積めたことに加え、売り上げの一部を募金することで、復興応援を学ぶ良い機会にもなりました。
11/9	お試しLABO×Cafe 来年度から始動予定のLABO×Café(ラボカフェ)。まなびのHIROBAと座談会のコラボレーションでお試し開催しました。 今回LABOの活動テーマは紙飛行機と折り紙。最初は保護者と座談会の場にいた子が、少しずつみんなに混ざり、後半ではお父さんボランティアと活動を楽しんでいました。

### あそびのHIROBA

子どもゆめ基金の助成を受け活動を開始してから早5年。参加者は幼児から中学生までの子どもたち。これまでは参加者だった子が高校生となりボランティアとしてチャレンジを始めました。2年続けた林間学校体験は、対象年齢を広げてチャレンジキャンプとしてリニューアル。活動内容も人との関わりも更に豊かになっています。

4/28	親子エクササイズ 一関修紅高等学校 清田博美先生
5/5	親子自由研究「ひょうたんランプ」
6/29	親子クッキング「手作りアイスでパフェを作ろう」 袋に氷と塩をいれ、材料をフリフリ。手が冷たくなったら次の子に交代してフリフリ。 会場になかなか入れなかった子も、かわいいトッピングに誘われておいしいそうなおパフェを完成させました。
7/6	チャレンジキャンプオリエンテーション 学校の宿泊学習の練習として、二泊三日でチャレンジキャンプを行いました。たくさんのボランティアさんのもと、お外でエクササイズ、鞍掛山登山、野外炊事、環境学習、野遊び！日帰りの子も、一泊の子も、疲れて途中でお昼寝をしに宿泊棟へ向かった子も。子どもたちは自分のできることから、力いっぱい体験することができました。
7/13 ～ 7/15	
8/7	親子自由研究 「マイクロビットプログラミングでタイマーを作ろう」 特定非営利活動法人codeMo 日脇隆弘さん
9/29	親子エクササイズ 「水の事故を防ごう～どんな格好だと動きやすい？」 PAWSスポーツクラブ 佐々木景子コーチ
10/19	親子クッキング「寄せ豆腐とおから料理」 有限会社平安商店さん
11/24	親子エクササイズ 一関修紅高等学校 清田博美先生

### キャリア学習

子どもたちの将来の仕事や働き方についての選択肢や適性を考えていくために、今年度から子ども希望基金の助成で始動しました。

4/13	お家で仕事をシステムエンジニアの方のお話を聞いてみよう！ 特定非営利活動法人codeMo日脇隆弘さん
6/22	大学研究室のお仕事を体験してみよう！ 岩手大学農学部 大沼俊名先生
7/22	倉庫のお仕事1 注文書を見て商品発送の準備をしてみよう！ ひゅーまにあ盛岡
10/9	色々な高校を見てみよう！ 盛岡スコール高等学校/盛岡工業高等学校(定時制)
11/16	好きなことを見つける！から始めよう いわてデジタルエンジニア育成センター センター長 小原照記さん

### 災害時のライフハック

今年度からは盛岡市子ども・子育て支援事業の助成でリスタートした防災学習。敬遠しがちなテーマでも子ども達が参加しやすいよう、工夫を凝らしながら全3回の活動を終了しました。

6/2	災害時のライフハック2019～自衛隊が先生編～ 自衛隊岩手地方協力本部
9/23	災害時のライフハック2019～防災士さんが先生編1～ 日本公衆電話会・防災士 荒屋敷武則さん
10/5	災害時のライフハック2019～防災士さんが先生編2～ 乾燥フルーツComeCome・防災士 新沼真弓さん

### ペアレント・トレーニング

昨年度までの助成事業を経て、自主事業として実施していきます。今年度はスタッフが研修を受け、準備期間を設けたあとにミニ講座から開始しました。2020年1月から本格スタート予定です。

11/21	(子どもを育てる)「上手なほめ方講座」 本来は全8～10回で1クールのペアレントトレーニングの基本となる部分を90分にまとめたミニ講座を開催しました。 悩みや不安が尽きない子育て中であっても、親子が笑顔で過ごしていけるよう、活動を進めていきます。
-------	---